

5年	単 元 名	速さ
算数		

1. 単元の目標

速さについて、その比べ方や表し方を理解し、いろいろな速さに関する問題を解決することを通して、速さ・道のり・時間の関係の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館資料から、動物、乗り物等の走る速さを調べ、比較することをおして「速さ」を実感するとともに、日常生活の様々な「速さ」に興味関心をもつ。

3. 授業での活用場面（6／6）

学習活動	学校図書館の関わり
1 「速さ」に関する既習事項と本時の学習の流れを確認する。	・学校司書と連携し、速さについて掲載されている資料を予め選定し、準備しておく。
2 めあての確認	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 何の速さがどれだけ速いか数、言葉などで表し「速さ」をイメージしよう </div>	
3 調べた速さをワークシートにかく	・情報が取り出しやすいように、関係ページに付箋をつけておく。 ・情報の読み取りが難しい子どもには、キーワードや場面がイメージできるよう言葉がけをする ・子どもたちの気づきに価値付けをしたり、日常生活と結びつくようにアドバイスをしたりする。
4 一人一人がワークシートにかいた「速さ」をグループで比べ、どちらがどれだけ速いかと、気付いたことをホワイトボードにかく	
5 全体で共有する	
6 ふりかえり	

4. 考察（成果や課題等）

学校図書館の資料をとおして、新幹線の速さを自分の走る速さと比べたり、船や飛行機と比べたりして、速さをイメージしていた。また、取り出した情報と情報をつなげ、日常生活の事象の意味理解を深めることにつながった。さらに「マッハ」や「ノット」などの新しい単位にも出会い、知識を広げることができた。学習以外の時間にも、いろいろな速さを調べる子どもが増えてきている。